

わたしたちを守る、
わたしたちが守る、

地域医療



No.185

市地域医療対策室 ☎ 31-0213

令和7年
12月26日

令和7年秋の叙勲（旭日双光章）の章記の伝達式を行いました！

元益田市医師会会長で、現在、津田医院院長の狩野卓夫医師が令和7年秋の叙勲（旭日双光章）を受章され、伝達式を行いました。狩野医師は、長きにわたり益田市医師会会長として、また石見高等看護学院院長として多方面にわたり地域医療に貢献してこられました。狩野医師は「患者さん、益田市医師会、市長をはじめ行政の方々にもご協力いただいた結果だと思っている。これを機にもう少し頑張ろうかという気になっている。いつまでできるかわからないが、気力体力が続く限り仕事を続けていきたい。」と述べられました。



これまでご尽力いただいた功績をたたえるとともに、今後も益田の地域医療を支えていただけることを願っています。

看護学生と市内小学生とのふれあい活動事業を行いました！

令和7年12月10日に西益田小学校・吉田南小学校・真砂小学校、15日に高津小学校・安田小学校で「石見高等看護学院の看護学生と地域の子どものふれあい活動事業」を行いました。

この事業は、看護学生とのふれあい学習を通じて、命の尊さや他者へのいたわり・思いやりを感じとることや、学童期から看護職への関心を高めることを目的として、平成21年から実施しています。

安田小学校の4年生は、看護学生から看護師を目指したきっかけの話を聞いたり、クイズ形式で自分の体のことを楽しく学びました。また、脈拍・体温測定や、聴診器で心臓の音を聞いたり、点滴の投薬の調整体験などを看護学生と一緒にしました。



安田小

吉田南小



吉田南小学校の6年生・特別支援学級では、出産をテーマにした授業が行われました。授業では妊婦疑似体験や赤ちゃんの模型を使って抱っこをしたり、体温を測ったり、心音を聴いたりしました。児童たちが赤ちゃんを優しく抱いて微笑む姿が印象的でした。

このふれあい活動を通して、地域の子どもたちが看護師の仕事に興味を持ち、将来の職業選択のひとつになることを期待しています。

令和7年
12月26日

勤続10年を迎えた医師に感謝状を贈呈しました！（医師会病院）

益田地域医療センター医師会病院にて、勤続10年を迎えた整形外科のおいかわてつや 笈川哲也医師に、市長から感謝状と特産品の目録を贈呈しました。笈川医師からは「益田日赤・松ヶ丘病院・開業医の皆さんや医師会病院スタッフに支えられてここまでやってこられたことに感謝している。家族ともども益田を気に入っている。今後も一医療人、また一父親として引き続き頑張っていきたい。」との言葉をいただきました。



1月20日

益田圏域出身医師と医学生との意見交換会を行いました！



益田圏域出身医師と医学生との意見交換会を出雲市内で開催しました。

益田圏域出身の医学生と先輩医師、島根大学医学部教授、しまね地域医療支援センター事務局次長、益田の医療を守る市民の会事務局長、吉賀町長、益田市長および市町職員の合わせて17名が参加しました。

今回は7年ぶりに吉賀町・津和野町の関係者も参加し、益田圏域の交流を深めました。医学生は勉学だけでなくスポーツや趣味を楽しんでいる学生生活にふれつつ、先輩医師からアドバイスをもらうなど、充実した会となりました。